

アメリカン・ジョークに習え!2

森 宗貴 Munetaka Mori



アルファポリス文庫

刊行にあたって

本書は 2002 年に刊行された「アメリカン・ジョークに習え！」の第二弾である。

構成は前作とほぼ同じであるが、笑いの質・和訳の質・編集の質は、前作とまったく同じである。
本書に収録されているジョークは、事前にインターネット上で公開し、感想を投稿できる掲示板を用意したうえで、読者の反響が大きかったジョークのみ厳選している。

投稿コメントのなかには、
「おもしろっ！！久々に私の好きなタイプの JOKE だった☆」
「腹がよじれるほど面白いです」
「な～るほど！って感じ。じわじわオチがきいてくるのがおもしろい！」
「このものや、
「後味が悪くて笑いにくいです」
「ジョークなんだけど「サイテー！」って思ってしまった」
「ブラック joke にも値しない人道に反するものですね」
「もっとちゃんと笑えるネタを選んで下さい」
「このものや、
「意味わかんない（；；）」
「意味が分かりませんでした。（涙）」
「意味不明！投稿無意味！」
等、さまざまな感想が毎回寄せられる。

本書にはいろんな意味で反響の大きかったジョークのみ厳選しているため、「つまらない」というコメントが殺到して掲示板がパンク寸前に追い込まれたジョークも、1 ジョークくらい混ざっている。
(それはそれで勉強になるであろう)

要は、本書を最大限に活用した者だけが、本書を制するのである。本書を題材として、あなた独自の使い方を生み出してもらえることを願ってやまない。

目次

刊行にあたって……**3**

Lesson 1 ～ 90……**6**

Lesson 91 ～ 100 (下ネタ)……**188**

オチの解説&コメント……**210**

Lesson

1 ～ 90



Lesson 1



Expensive Battery

An angry motorist went back to a garage where he'd purchased an expensive battery for his car six months earlier.

"Listen," the motorist grumbled to the owner of the garage, "when I bought that battery you said it would be the last battery my car would ever need. It died after only six months!"

"Sorry," apologized the garage owner. "I didn't think your car would last longer than that."

-Vocabulary-

grumble : 不平を言う last : もつ、もちこたえる

LEARN BY AMERICAN JOKE ! 2

日本語訳



高価なバッテリー

自動車修理工場に車で乗りつけたそいつは怒っていた。半年前、この工場で高価なバッテリーを買ったのだ。

「よう、」 そいつは工場主に声をかけた。「オレがここでバッテリー買ったとき、デメエ言ってたよな。そのバッテリーさえありゃあ、オレの車はもうバッテリー交換する必要がねえってよ。それが、たった半年しかモタねえじゃねえか！」

「すみません、」 工場主は謝った。「お車がバッテリーより長持ちするとは思わなかったものですから」



アメリカンジョークに習え ! 2



Lesson 2



The Big Test

Little Johnny stared at his test paper. The big read "F" stared back at him.

Freddie looked at his glum friend and asked, "Why did you get such a low grade on that test?"

"Because of an absence," Johnny answered.

"You mean you were absent on the day of the test?" he questioned.

Little Johnny replied, "No, but the kid who sits next to me was."

-Vocabulary-

glum : 落胆した absence : 欠席

日本語訳



大事なテスト

ジョニー君は、戻ってきたテスト用紙を見つめていた。大きく書かれた「不合格」の文字が、ジョニー君を見つめ返していた。

フレディー君は、ジョニー君が肩を落としているのを見て、こうきいた。「どうしたんだよお前、そのひっでえ点は？」

「休んだからだよ」とジョニー君は答えた。

「お前、テストの日に休んだのか？」フレディー君がきいた。

ジョニー君は答えた。「いや、隣の席のヤツが休みやがった」





Lesson 3



Virility Problems

A woman suffers from a painful headache and tries a new doctor. He tells her to rub her temples and repeat "I have no headache, I have no headache, I have no..." and amazingly enough, the headache disappears after 5 min.

She then thinks, that the doctor might be able to heal her husband who suffers from virility problems. The man visits the doctor and when he comes home, he just said that he needed 5 min for himself in the bedroom. Afterwards, he had no problems at all...

This goes on perfectly for quite some time until the wife gets curious and listens on the bedroom door. She hears the man repeat: "This is not my wife, This is not my wife... this is no..."

-Vocabulary-

virility : (男の) 生殖能力 rub : こするようにもむ temple : こめかみ amazingly enough : 驚くべきことに curious : 知りたがっている

日本語訳

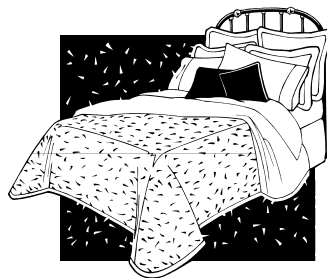


不能の夫を催眠治療

頭痛に悩まされている女性がいつもとは違う医師に診てもらった。こめかみを揉みながらまじないを唱えるよう指示された。「頭痛はしない、頭痛はしない、頭痛は…」驚いたことに頭痛は5分で消えた。

そこで女性は考えた。夫の性的不能もあの医師なら治せるのではないか。そして夫をその医師のところへ行かせた。帰宅した夫は、5分待ってくれと言って寝室に入った。そして5分後、不能はすっかり治っていた。

こんな日がしばらく続いた後、女性が興味本位で寝室のドアに聞き耳を立ててみた。すると夫がまじないを唱えているのが聞こえてくるのではないか。「あれは俺の妻じゃない、俺の妻じゃない、俺の…」





Lesson 4



Flying Kids

A stewardess was getting very annoyed by 3 little children on the plane. They had been bugging her since take-off, complaining that they were hungry or bored or tired or thirsty or needed to go to the bathroom and whatever else you could imagine a small child commenting and complaining about.

Well, the stewardess had had enough. The next time the children said that they were bored, she told them to go play outside.

-Vocabulary-
bug : てこずらせる

LEARN BY AMERICAN JOKE ! 2

日本語訳



空飛ぶ子どもたち

ひとりのスチュワーデスが、機内にいる3人の小さな子どもたちにイライラを募らせていた。飛行機が離陸してからというもの、子どもたちは腹ぺこだの、退屈だの、疲れたの、やれのどが渴いたの、トイレに行きたいだの、いかにも子供が言いそうなあらんかぎりの駄々をこねていたのである。

スチュワーデスはもううんざりだった。そこで、ふたたび子どもたちが退屈だと言いだしたとき、彼女は「外で遊んできなさい」と一喝した。



アメリカンジョークに習え ! 2



Lesson 5



Silent Treatment

A man and his wife were having some problems at home and were giving each other the silent treatment.

The next week the man realized that he would need his wife to wake him at 5.00am for an early flight to Sydney. Not wanting to be the first to break the silence, he finally wrote on a piece of paper, "Please wake me at 5.00am".

The next morning the man woke up, only to discover it was 9.00am, and that he had missed his flight.

Furious, he was about to go and see why his wife hadn't awakened him when he noticed a piece of paper by the bed. It said, "It is 5:00am, wake up!"

-Vocabulary-

silent treatment : 黙殺、無視 furious : 激怒した

LEARN BY AMERICAN JOKE ! 2

日本語訳



だんまり合戦

夫と妻が家庭内のことでもめてしまい、お互いにだんまりを決めこんでいた。

次の週、夫は、シドニーへの早朝便に搭乗するために、どうしても妻に頼んで朝5時に起こしてもらわなければならなかった。先に沈黙を破りたくなかった夫は、紙切れに「朝5時に起こしてくれ」と書いておいた。

翌朝、夫が目を覚ますと、時計の針は9時になっていた。飛行機に乗りそこねてしまったのだ。

激怒した夫は、なぜ起こしてくれなかったのかと文句を言いに行こうとした。枕元の紙切れに気がついたのはそのときだった。そこにはこう書かれていた。「朝の5時よ、起きて！」



アメリカンジョークに習え ! 2



Lesson 6



Scientific Proof

Some biological researcher experimented with a flea. He puts it on the table and says "Jump!" The flea jumps 3 meter, so he writes down to his log "the flea has jumped 3 meters".

Afterwards he cuts one of its legs and says again "Jump!" The flea jumps only 2 meter, so he writes down to the log "the flea has jumped 2 meters"

Then he again cuts one more leg, again says "Jump!" It jumped 1.5 meter, which was also registered in the log.

He continued cutting the fleas' legs until there were no legs left, he puts it on the table and says "Jump!"

The flea doesn't move. He says again "Jump!"..It doesn't move.

So he writes down, "Removing all the legs from the flea makes them deaf."

-Vocabulary-

scientific : 科学的 proof : 証明 biological : 生物学の
researcher : 研究者 experiment : 実験する flea : ノミ
log : 業務日誌 register : 記録する deaf : 聴覚障害

日本語訳



科学的立証

ある生物学者がノミの実験をした。机の上にノミを置き、「跳べ!」といった。ノミは3メートル跳んだ。研究者は「跳躍距離3メートル」と記録した。

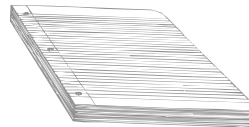
その後、足をもう一本切りとり「跳べ!」といった。ノミは2メートルしか跳ばなかった。研究者は「跳躍距離2メートル」と記録した。

それからまた、べつの足を切りとり、「跳べ!」。ノミは1.5メートル跳んだのでそのように記録した。

その後も研究者はノミの足を切りとり続けた。そして、とうとう一本の足もなくなってしまったノミを机の上に置き、「跳べ!」といった。

ノミは動かない。研究者はいう。「跳べ!」ノミはピクリともしない。

そんなわけで、彼はこう記録した。「ノミは足をぜんぶ切りとられると耳が聞こえなくなる」





Lesson 7



Children

You spend the first 2 years of their life teaching them to walk and talk.

Then you spend the next 16 telling them to sit down and be quiet.

日本語訳



こども

生まれてからの2年間、親は子供に歩き方と話し方を教える。

その後の16年間は、座っておとなしくしてなさいと説教する。

サンプルはここまで

